

平成28年度 第1回岬町行財政改革懇談会議事録

日 時	平成28年5月9日（月）14：00～14：40
場 所	岬町役場 3階 第2委員会室
出席者 （会 長） （副会長）	（敬称略） 足立 基浩（和歌山大学経済学部 学部長／教授） 宮川 益和（商工関係） 和中 信隆（税理士） 中小路 美佐子（女性団体関係） 下出 忠（農業・水産業団体関係） 辻 昭江（高齢者団体代表） 松岡 信男（公募） 小宮山 和実（公募） 松田 桃子（学生）

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 事

改革取組前・今後の財政収支見込（普通会計）について

（会 長）それでは、会議を進めて参ります。

本日の案件は、「案件1 改革取組前・今後の財政収支見込（普通会計）について」の1件となっております。事務局より説明を受け、その後質疑を行うこととしてよろしいでしょうか。

（異議なし）

（会 長）それでは、案件1 改革取組前・今後の財政収支見込（普通会計）について事務局より説明をお願いします。

（事務局）改革取組前・今後の財政収支見込（普通会計）について説明する。

（会 長）ありがとうございました。ただいま事務局より説明がありました案件1の改革取組前・今後の財政収支見込について何かご意見等はございますでしょうか。

かなり多岐にわたって事業の詳細な報告と固定資産税の状況のシミュレーション。そのシミュレーションを行うに当たって年率何パーセントという前提条件があります。そういう細かい説明を今いただいたと思うのですが、こういったのを含めて岬町の財政がこのように推移していくというような図だったと思うのですが何かご意見等ございますでしょうか。財政には収入と支出の二つがあり、収入については非常に厳しい状態で、これは岬町に限らず全国的な自治体を見てもかなり税収は減ってきています。そんな中、交付金などの国からの応援するお金が入ったり色々しているわけですが、一方で攻めの部分で建設事業のようなこともどんどんしていけないと町は元気にならないというようなこともあり、4頁目に色々な事業の

表がありますが、こういう戦略をもって元気にするということかと思いますが、よろしいでしょうか。特に無ければ私から一点お願いします。改めてこの普通建設事業の中で、(仮称)町道多奈川歴史街道線整備事業について少し説明をお願いします。

(担当部長) 町道多奈川歴史街道線の整備につきましては、場所は多奈川で、多奈川に興善寺、理智院、産土神社などの文化財がありまして、そこを訪れる人が年々多くなっています。平成26年度に、約1,200名の方が参拝で見えられたとのことで、その時に大型バスの駐車スペースが無く、地域にもご迷惑をお掛けしたということもありまして、これからの観光振興の施策を推進していく上でも、駐車場やバイパスも新たに整備をします。そういったことが必要であろうということで、その整備に係る費用をここに計上させていただいています。

(会長) 観光の拠点になりつつあると、実際になっているのですが更に強化する為のバスや駐車する場所とかそういったものの整備が必要ということですね。わかりました。

(会長) 他に何かありませんか。なければ第1議題を終了します。

それでは続きまして報告事項に移りたいと思います。平成27年度岬町行財政改革懇談会議事録の確認について事務局より説明をお願いします。

(事務局) それでは報告事項について説明させていただきます。

前回(1月18日)開催の平成27年度 岬町行財政改革懇談会の内容についてまとめております。内容等については事前に配布させていただいておりますので、ご確認いただいていると思います。

(会長) ありがとうございます。ただいま事務局より説明がありましたが、議事録の確認について何かご意見等ございますでしょうか。

(会長) よろしいですか。では何かあればご連絡ください。

それでは議事録の確認についてはお認めいただいたとさせていただきます。では他に何かございませんでしょうか。

(委員) 前に戻りますが、2頁の人件費について、平成29年度までで退職者が17名おり、その後は6名、6名で、それ以降もずっと人件費が同じで金額としては3,000万円位しか減っていない。新たに入られた方を入れているのかわかりませんが、どのように試算してこのような数字になったのか、また、物件費の賃金と出ているのはどのように対応しているのか、これについて説明をお願いします。

(担当部長) 今のご質問ですが、今現在、金額的にあまり動かないということになっているのは、毎年人件費が人事院勧告等で1.8%上がるということと、もう一つは再任用の部分が人件費に入ってくると。人件費で短期的に退職者を雇った場合でも平成28年度で6,000万円程度の人件費があると。平成30年度については1億6,000万円、平成31年度では2億1,000万円程度、平成32年度には2億6,000万円程度の人件費が今の退職された方を再任用することで増えてくる

ことになっていますので、普通ですと委員さんが言われるとおりに減ってくると思うのですが、今現在の本町の職員の採用制度というのが、退職しても65歳までは再任用で雇うということになっていますので、その部分で新人職員をすべて補充して、なおかつ辞められた方を再任用した場合、人事院勧告も含めてなかなか人件費が動かないという状況になっています。ただし、その辺については今後、人事の方がどのようにしていくか、定員管理の問題もありますので。そこまで踏み込まずに今現在のままですと何も動かないという状況になっているということでご理解いただきたいと思います。もう一つ、物件費の賃金につきましても、先程申し上げました再任用で人的には増えますが、今現在の平成28年度の状態のまま計算していますので額的には…。

(委員) いえ、金額ではなくて物件費というところに賃金も出ていますので、どういうところで人件費が発生するのかが見えませんので、そのあたりの説明をお願いします。

(担当部長) 約150人程度の臨時職員を雇用しており、分類としては物件費ということになるわけですがマンパワーとしてお支払いしているところです。内容としては早延長の保育とか、学童保育とか、そういうもので約40名から60名位になります。あと事務で20名から30名必要に応じて補助という形で雇用しているところです。あと幼稚園関係、特に子育て関係になりますと送迎バス用の添乗員とか運転手とかそういった形で概ね子育て環境を中心に雇用しているところが実態です。あと中学校や小学校では介助員という方も雇用しておりまして、いわゆる安定した授業が受けられるように、支援が必要な方に対しては、担任に加えそのような方を雇用して、授業が円滑に進むように雇っているという状況です。

(会長) ありがとうございます。少し戻った形ですが、この際何か他にございますか。

(会長) よろしいですか。それでは先程の議事録も含めてご承認いただいたということでしょうか。

(担当部長) すみません。先ほど説明した額が少し間違っておりました。先程言いました再任用の額ですが、平成33年度がピークということになります。ここには載っていませんが、その時に36名の短期の再任用者を雇うことになり、それだけでも8,500万円程度は増えるということになります。

(会長) ありがとうございます。では、次回の懇談会の日程について事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) 次回の懇談会の日程について説明させていただきます。次回は10月頃の開催を予定しております。詳しい日程につきましては、決まり次第改めて事務局のほうから連絡をさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

(会長) どうもありがとうございました。慎重にご議論ご審議ありがとうございます。ただいまをもちまして平成28年度第1回岬町行財政改革懇談会を閉じたいと思います。ご協力ありがとうございました。